

経営比較分析表（令和5年度決算）

福井県 福井市

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	81.25	0.24	109.93	2,618

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
255,949	1,401.35	182.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
611	0.15	4,073.33

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

一般会計からの補助により「①経常収支比率」は100%を確保しているものの、「⑤経費回収率」は100%を大きく下回っており、使用料収入では費用を賄っていない状況である。

「③流動比率」は100%を下回っており、一般会計からの繰入金で企業債の償還を賄っている状況である。

「④企業債残高対事業規模比率」は類似団体平均値を下回っている。

「⑥汚水処理原価」は類似団体平均値を下回っているが、より効率的な汚水処理に努める必要がある。

「⑧水洗化率」は、類似団体平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均値より高く老朽化が進んでいる。「③管渠改善率」は、耐用年数を経過した管渠がないことから、まだ更新を行っていないため0となっている。

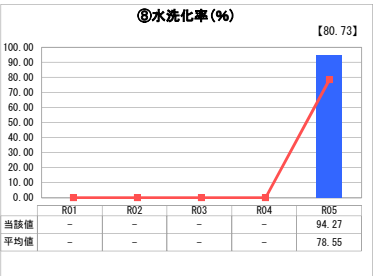
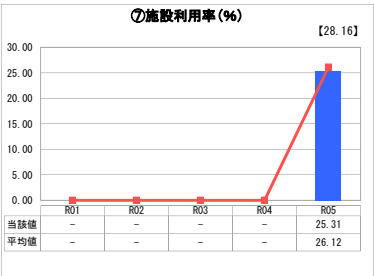
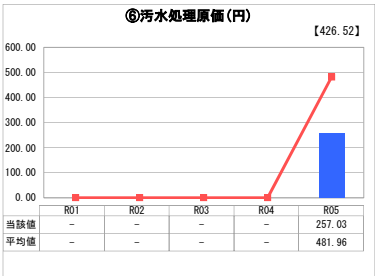
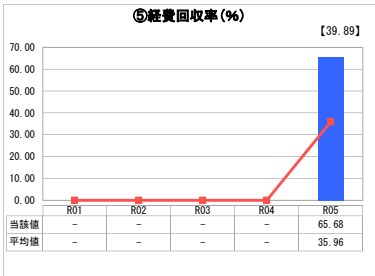
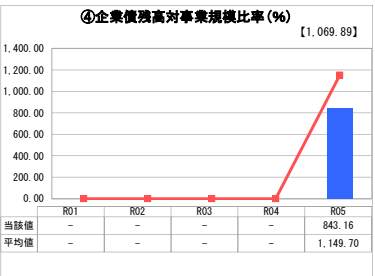
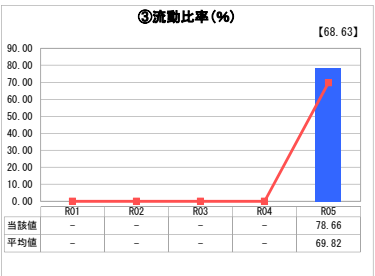
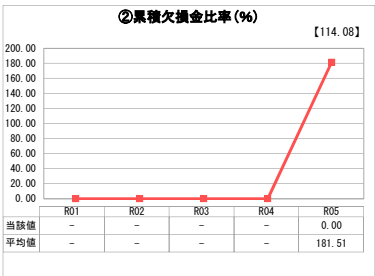
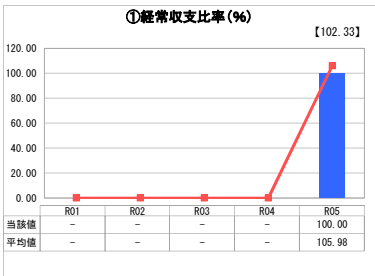
全体総括

事業区域が過疎地域であることから、使用料収益だけでは経営が成り立たず、一般会計繰入金に大きく依存している状況である。

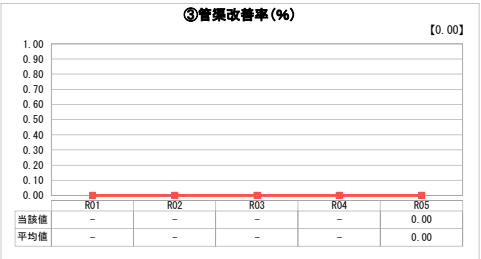
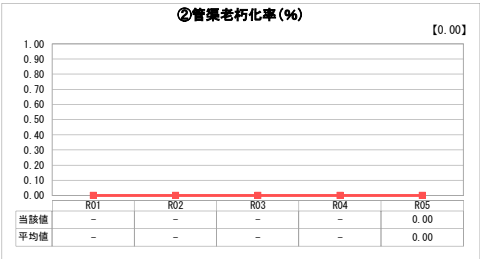
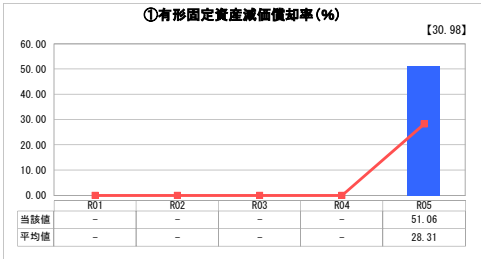
今後も、人口減少や節水により使用料収益は減少が予想される一方、施設の老朽化に伴い維持管理費や更新費用は増加が見込まれる。

そのため、施設の更新については、適正規模や事業費の平準化などを十分検討のうえ、計画的に進めていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。